

【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

【学生部門】 大原学園 東京ホテル・トラベル学院専門学校 C班

『 チューリップと癒しのコントラスト 』

(観光地域：富山県砺波市)

【日 程】	1泊2日		
【実施時期】	春		
【催行人員】	12名 (最少催行人員：2名)	【お勧めする旅行者層】	50～60代 夫婦
【旅行代金】	53,480円 (大人1名)	【内 訳】	
		新幹線 往復 26,600円	遊覧船代 1,000円
		在来線 往復 480円	バス代 400円
		旅館代 22,000円	昼食代 3,000円
【企画趣旨 (伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p>富山県砺波市は、人口5万人の小さな村です。砺波市は日本国内最大とされる散居村の砺波平野があり、その規模は約220万キロメートルで7,000戸の家々があります。砺波市は良質な水が流れ、チューリップの栽培が盛んです。今回は、綺麗に咲いたチューリップを見ることができる4月～5月にツアーを設定しました。</p> <p>県下で初めてチューリップ栽培を始めたのは東砺波郡庄下村(現在の砺波市)で、わずか10球から始まりました。その当時は、水稲単作地帯で規模の小さな農家が多く、冬は積雪のある寒冷地帯で就労機会もあまりありませんでした。そんな中、当初10球あまりを取り寄せ試作していたチューリップの球根を切り花として販売したところ、当時まだ日本では珍しい草花であったことから高値で売れ、更に球根の販売も試みたところ種苗商が高く買い取ったことを契機に、本格的なチューリップ球根の栽培に取り組み始めたのです。</p> <p>砺波市には、チューリップの生育に適した豊富で良質な水はもちろん、気温、日照時間、肥沃な土地、など自然の恵みがあり、チューリップ栽培は水田稲作の有望な特産物として県下全域に普及していきました。今では富山県はチューリップの球根出荷量日本一位の産地として発展しています。2日目に行く砺波チューリップ公園では、春頃に色とりどりのチューリップが咲き誇り、快適にウォーキングができます。また近くの売店では富山県産のます寿司や鹿の子餅(かのこもち)などの旅の思い出を買うことができます。</p>			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
ハイキングするので、歩きやすい靴で来てください。			
【催行実績】	無		

【 行 程 表 】

1日目	10:00 東京駅出発 北陸新幹線 13:00 新高岡駅到着 乗り換え 在来線→バス移動 13:30 砺波到着 14:30~15:40 庄川峡遊覧船 16:00 散居村展望台 夕焼けを見る 17:30 鳥越の宿、三楽園 宿泊
2日目	9:00 鳥越の宿 三楽園 出発 9:30~10:30 庄川ウッドプラザ 10:45~12:15 砺波チューリップ公園 12:30~14:00 旬彩いろり茶屋 鮎の庄 14:30 砺波 出発 バス→在来線→北陸新幹線 17:30 東京駅 到着

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】

庄川遊覧船	散居村展望台	鳥越の宿 三楽園
		
<p>【コメント】 四季折々の景観を眺めながらの遊覧のひとは、心が和みます。庄川峡の小牧ダムから大牧温泉の間を約1時間かけ、ゆっくり船で往復すれば、山々の美しさに心も癒されます。また、短時間で気軽に楽しめるショートクルーズもありますので、のんびりと楽しむのはいかがでしょうか。 写真出典 https://www.info-toyama.com/s/spot/41018/</p>	<p>【コメント】 針伏山の標高433mの場所にある展望台で、県の「ふるさと展望台」に指定されています。眼下に砺波平野の散居村を一望できる有数の場所で、カインヨと呼ばれる屋敷林に包まれた農家が50~100mほど離れて散在する景色を堪能できます。かつては耕作、防火にも役立っていました。 写真出典 https://www.info-toyama.com/spot/41093/</p>	<p>【コメント】 日濁色と赤茶色の2種類の異なる天然温泉が楽しめます。富山の新鮮な海の幸、山の幸を使った会席料理もイチ押しです。温泉は白濁色の炭酸水素温泉はお肌がすべすべになり、美肌の湯として親しまれています。 写真出典 http://www.sanrakuen.com/test_ability/info/detail.php?id=14</p>
砺波チューリップ公園	旬彩いろり茶屋 鮎の庄	庄川ウッドプラザ
		
<p>【コメント】 砺波市特産のチューリップなど季節の花が楽しめる都市公園です。春は300万本のチューリップが楽しめます。また、変化に富んだハイキングコースを楽しむことができます。全国でも最大級の「五連揚水水車」や、涼やかなひょうたん池、散居農家の景観を復元した「旧中嶋家」などもあります。 写真出典 http://fair.tulipfair.or.jp/</p>	<p>【コメント】 庄川は、世界遺産五箇山を臨み、四季折々の景色を見せ砺波野をうるおす恵み豊かな川です。その河畔に佇み、樹齢300年の老松に囲まれた旅館・川金の庭園内に「鮎の庄」のお店があります。「庄川の鮎は天下一」と言われています。庄川の伏流水でしつけた鮎は香りも味わいも豊かに仕上がっています。野趣あふれるいろり端で、炭火でじっくり炙った焼きたての庄川鮎をご堪能してみたいかがでしょうか。 写真出典 https://www.info-toyama.com/gourmet/80149/</p>	<p>【コメント】 巨大水車が目印の庄川ウッドプラザでは、庄川・砺波のお土産や特産品を販売しています。喫茶コーナーでは庄川名物の「ゆずソフト」や自家焙煎コーナーが人気です。庄川水系で唯一の「ダムカレー」もあります。屋外のウッドデッキ設置されている庄川清流温泉を使った「足湯」は無料でお楽しみいただけ、ファミリーやカップルでのんびり楽しむ、「ウッドバザール」「ライブウッド」「チューリップの花びら足湯」などの定期イベントで賑わいます。 写真出典 https://www.city.tonami.toyama.jp/section/1298887241.html</p>